

令和3年度 東久留米市立本村小学校 学校評価報告書

学校教育目標	◎創る・・・互いに考えを深め合い、創造していく児童の育成 ○思いやる・・・自他のよさに気づき、互いに認め合う心豊かな児童の育成 ○活きる・・・健康で、何事にも意欲的に活動する育成	教育ビジョン	【目指す学校像】 今日が楽しく、明日が待たれる学校～笑顔輝き、歌声響く学校～
			【目指す児童・生徒像】 夢・希望・期待をもって登校し、仲間とのかかわり合いを通して生き生きと過ごし、自分の良さを発揮する子 あ:明るく元気な子 か:(よく)考えて行動する子 ば:ぱっちり健康な子 ね:粘り強く頑張る子 さ:最後まで真剣に取り組む子 と:友達を大切にすること し:しっかりと「返事・挨拶・靴そろえ」をする子
			【目指す教師像】 子供を愛し、指導力・授業力の向上を目指し、互いに切磋琢磨し合う教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	【成果】○プログラミング教育の取り組みを進め、授業改善ができた。 ○いじめ、不登校対策で、丁寧な対応による問題解決等、成果があがった。 【課題】○基礎学力及び体力のさらなる定着・向上 ○主体的、自治的にかかわり合う力の醸成 ○教員の授業力の向上		

東久留米市第2次教育振興基本計画				中期経営目標	短期経営目標	評価指標・評価基準		自己評価		学校関係者評価		次年度の方策
No.	四つの柱	基本施策	今年度学校で重点を置く「具体的施策」	(令和5年度までの3年間)		取組指標	成果指標	取組	成果	評価	コメント	
1	Ⅱ 学力向上	生涯にわたって育む健やかな体づくり	心身の健康の保持増進に関する指導の充実	「すすんで外遊びや体力づくりをしている」を80%以上にする。	体力づくりに関する指導を年間を通して計画的に行う。	・縄跳び週間、マラソン旬間を設定し、全校で取り組む。 ・児童会を中心に「本村ギネス」を実施し、体力づくりへの意欲を高める。 ・体力アップウィーク(1月)を設定し、全校で持久走に取り組む。 ・すすんで外遊びができるよう学級経営に位置づける。	「すすんで外遊びや体力づくりをしている」が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	B	C	B	・コロナ禍での学校運営は想像以上の苦労があらうかと存じます。そうした中においても学校として、児童の学力向上、健全育成等にむけ、でき得る範囲でご尽力されている様子を拝見いたしました。今後も、新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえつつ経営目標の達成へ向け、努めていただきたく存じます。	○縄跳び週間、持久走旬間の充実を図る。(体育的行事委員会) ○児童会を中心に「本村ギネス」「長縄大会」等を企画し、体力づくりへの意欲を高める。 ○1～2か月に1回(水曜日の中休み)に「あそぼうデー」を設定し、児童、教職員と一緒に遊ぶ時間を設け、「遊び」の指導を行う。 ○外遊びの励行ならびに「学級遊び」を工夫し、休み時間は担任も一緒に遊ぶ等、すすんで外遊びができるよう学級経営を充実させていく。 ○学年×10分の家庭学習の習慣を身に付けさせるため、保護者会での周知を徹底する。 ○算数習熟度別指導を計画的に行い、さらなる充実を図る。 ○朝読書タイム<火・木>、読書旬間<6月・12月>、読み聞かせ(教師、委員会児童等)を計画的に行う。 ○基礎的・基本的な学習内容の定着・充実を図るため、金曜日の朝(8:25～8:40)を「ドリルタイム」を実施する。
2	Ⅱ 学力向上	確かな学力の育成	基礎的・基本的な学力の定着と学ぶ意欲の向上	「自分からすすんで学習できる」を70%以上にする。	学年×10分の家庭学習の習慣を身に付けさせる。保護者会での周知を行う。	・個に応じた指導の充実。 ・読書活動の充実。(朝読書タイム<火・木>、読書旬間<6月・12月>、読み聞かせ) ・基礎的・基本的な学習内容の充実。(国語タイム<水>)	「自分からすすんで学習できる」が A: 70%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	B	B	B	・家庭学習は、地域性もあり大変なことともありますが、大事なことでありますので継続的な取り組みをお願いします。	○OJTとして自己申告の授業観察を互いに見合い、授業改善に意識を高め合う。 ○一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で) ○校内研究会で年3回以上の研究授業(特別活動)を行い、講師の指導を受ける。
3	Ⅱ 学力向上	確かな学力の育成	教員の授業改善、指導力の向上の推進	「授業が分かりやすい」を80%以上にする。	校内研究を充実させる。自己申告の授業観察時等も活用し、互いの授業を参観し合い、切磋琢磨する。	・自己申告の授業観察を中心に授業改善を意識させ力量を高めさせる。 ・一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で)	「授業が分かりやすい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	B	B	・生活指導の充実については、できるまで徹底的に、是非、行ってほしいです。大事ですので。	○OJTとして自己申告の授業観察を互いに見合い、授業改善に意識を高め合う。 ○一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で) ○校内研究会で年3回以上の研究授業(特別活動)を行い、講師の指導を受ける。
4	Ⅱ 学力向上	体験的な活動	地域や外部人材を生かした体験活動の充実	「GTやATと一緒に学習をして楽しかった」を80%以上にする。	企業の出前授業、地域や保護者等の外部人材を活用した創意工夫のあるダイナミックな授業づくりをすすめる。	・各学年、年1回以上、GTやATを活用した授業を行う。	「GT、ATと一緒に学習をして楽しかった」が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	B	A	B	・道徳科の授業は、難しい面もあると思います。公開授業で行われますと関心も強まり、理解も得やすくてよいと思います。	○各学年、年1回以上、企業の出前授業、地域や保護者等の外部人材を活用した創意工夫のあるダイナミックな授業づくりをすすめる。(継続)
5	Ⅱ 学力向上	体験的な活動	地域や保護者と連携した防災教育	「避難訓練や地域防災に真剣に取り組んだ」を70%以上にする。	避難訓練の年間計画を見直すとともに、地域と連携した防災体制づくりを推進する。	・避難訓練の年間計画を見直す。 ・自治会・町会、青少年協等と連携した防災体制づくりを進めていく。	「避難訓練や地域防災に真剣に取り組んだ」が A: 70%以上 B: 60%以上 C: 40%以上 D: 40%未満	B	B	B	・本村小の子供はみんな、登下校時のあいさつはできています。「おはようございます」の声は気持ちいいです。	○見直しをした年間計画に基づき、実践する。 ○市防災課との連携を図り、自治会・町会、青少年協等と連携した防災体制づくりを進めていく。
6	Ⅰ 健全育成	個性を認め合う教育の推進	人権教育の推進	「友達に思いやりの心をもって生活した」を80%以上にする。	全教育活動を通して人権教育を行う。特に道徳科、学級活動を両輪として確固たる人権感覚を身に付けさせる。	・全校朝会で年3回以上、人権に関する講話を行う。 ・各学級、道徳科の授業公開を年2回以上行う。	「友達に思いやりの心をもって生活した」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	B	B	・オリンピック・パラリンピックが開催されたことにより、いろいろな国があり、いろいろな国旗があり、いろいろな競技があることも知ることができてよかったです。これからの世界が広がります。	○全校朝会で年3回以上、人権に関する講話を行う。 ○全教育活動を通して、具体的な場面も取り上げ、人権感覚を養っていく。(継続)
7	Ⅰ 健全育成	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む教育の推進	規範意識と豊かな人間関係を育む教育	「みんなで話し合ったり、活動したりすることが楽しい」を80%以上にする。	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む校内研究を推進していく。(道徳科)	・校内研究で年3回の研究授業を行い講師の指導を受ける。 ・学年・学級経営の充実を図る。(OJT研修)	「みんなで話し合ったり活動したりすることが楽しい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	B	B	・いい思い出として思い出される”母校、本村小学校”になってほしいと願っています。	○道徳科を要として、規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む学年・学級経営を推進する。 ○各学級、道徳科の授業公開を年2回以上行う。
8	Ⅰ 健全育成	特別支援教育の充実	教育相談体制の充実	「先生たちはよく話や相談を聞いてくれる」を80%以上にする。	SC、特別支援教室巡回指導教員、専門員等との連携を深めるとともに、校内委員会の充実を図る。	・月1回以上の校内委員会 ・SC、特別支援教室巡回指導員、専門員と校長との各連絡会を随時もち、情報交換を行う。(2週間に1度程度)	「先生たちはよく話や相談を聞いてくれる」が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	C	B	B		○月1回以上の校内委員会を実施する。(継続) ○SC、特別支援教室巡回指導員、専門員と校長との各連絡会を随時もち、情報交換を行う。(2週間に1度程度)(継続)
9	Ⅰ 健全育成	日本人としての自覚と豊かな国際感覚をもつ人材の育成	規範意識と豊かな人間関係を育む教育	「学校は楽しい」を80%以上にする。	生活指導の徹底と学年・学級経営の充実を図る。	・返事・あいさつ・靴揃えを徹底する。 ・「温かく・厳しい」支持的風土の学年・学級をつくる。	「学校が楽しい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	A	B		○返事・あいさつ・靴揃えを徹底する。(継続)―「返事」の重点化。 ○「温かく・厳しい」支持的風土の学年・学級をつくる。(継続)
10	オリンピック・パラリンピックの精神を生かした教育の充実	4×4の取組	4×4の取組	「オリ・パラの学習が楽しい」を80%以上にする。	年間計画に基づき35時間の学習を行い、4×4の取組を充実させる。	・「4つのアクション」のうち学ぶ(知る)、する(体験・交流)に重点を置き、授業を展開する。 ・掲示物、調べ学習を充実させ、オリ・パラでの関心を高める。	「オリ・パラの学習が楽しい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	C	B	B		○オリパラの精神を生かし、学ぶ(知る)、する(体験・交流)に重点を置き、授業を展開する。
11	Ⅲ 教育環境の整備	各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進	ライフ・ワーク・バランスの改善	ライフ・ワーク・バランスの取組についての満足度を75%以上にする。	教員が「働き方改革」を意識できるようにする。	・「See you tomorrow day」(定時退勤日)を週1回以上設定する。	「満足・概ね満足」(教職員)が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 40%以上 D: 40%未満	A	A	B		・「See you tomorrow day」(定時退勤日)を週1回以上設定する。(継続)